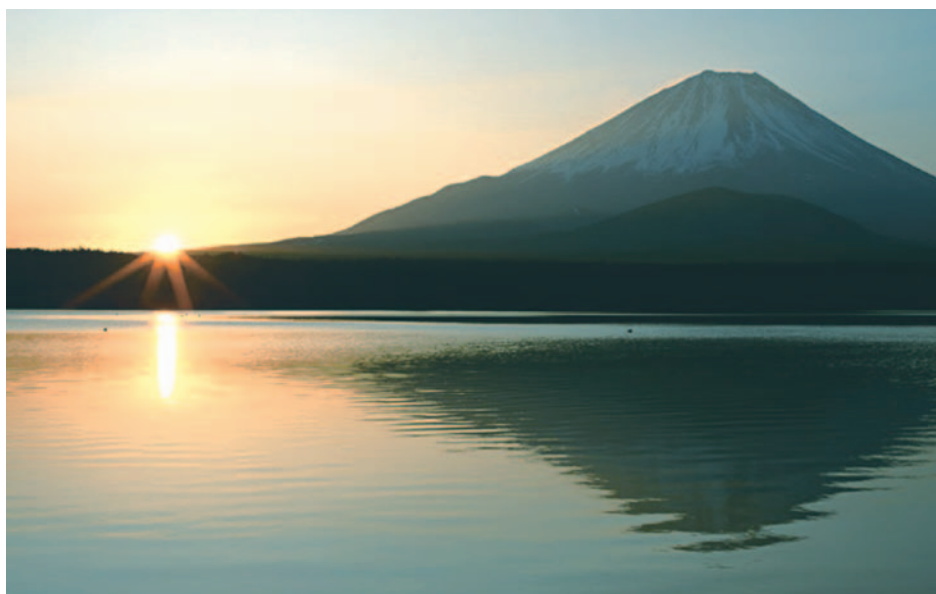


KTK 京都ライトハウス通信 第100号

編集人 鈴木紘一 / 社会福祉法人 京都ライトハウス / 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町 11
代表番号 TEL 075-462-4400 FAX 075-462-4402 / 鳥居寮 TEL 075-463-6455 / 船岡寮 TEL 075-463-4649 FAX 075-467-2788
URL: <http://www.kyoto-lighthouse.or.jp> / E-mail: info@kyoto-lighthouse.or.jp
郵便局振替番号 (京都ライトハウス)01040-0-4470 (後援会)01090-3-9080 (運営資金寄付)00960-5-153295 / 1979年(昭和54年)8月15日創刊



新年のご挨拶
理事長 山口英太郎

新年あけましておめでとうございます。

本年が平和で穏やかな年となりますよう祈念いたしますと共に、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

昨年は本法人の歴史にとって特筆すべき年でした。1月15日の竣工式には京都府・京都市をはじめ、多くの関係者にご列席を賜わり、記念すべき新たな第一歩を共に祝していただきました。4月1日からは従来の諸事業に加えて、今回新設された、「身体障害者通所授産施設」と「デイサービスセンター」の2事業が、利用者を迎えて活動をはじめ、12月には京都府眼科医会様のご協力を得て「眼科更生相談事業」を開設するなど、事業運営もようやく軌道に乗り、多くの見学者が日々来館されています。一方、盲養護老人ホーム「船岡寮」の再整備など、残された課題について、引き続き最善を尽くしてゆきたいと思っていますので、ご支援を賜

りますよう、宜しくお願いいたします。

ご承知の通り、社会福祉を取り巻く状況は極めて厳しく、しかも現行の「支援費制度」が見直されるなど、障害者施策そのものが総合的に改革されようとしています。こうした流動的な時期において、私たちが利用者の権利と立場を擁護していくため、並大抵のことではありませんが、皆様のご支援とそれに携わる役職員の力を結集して乗り越えてゆきたいと思っています。多くの利用者のご期待に応えられるよう事業の拡充と、サービスの充実を目指して、新年が有意義で豊かな年となりますよう願っています。

最後になりましたが、本法人の発展と、今回の建設実現にお寄せいただきました各方面の方々の絶大なご支援に対し、改めて深く感謝申し上げますと共に、今後とも引き続き広範なお力添えを賜りますよう、切にお願い申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

京都ライトハウスのさらなる拡充を目指して ー皆さんと共に歩む施設作りー

(第2回) 新たな施設と育ち合う快適な利用環境を求めて!

京都ライトハウスの建設に際して、2001 年度には施設内に「ユニバーサルデザイン検討委員会」を設置し、誰にも使いやすく、安全な建物作りを目指しました。

新設された京都ライトハウスはこれまでの施設と幾つかの点で違いがあると同時に、最新施設としての特色を備えています。

一つには、以前の建物が元京都市交通局病院であったことから、視覚を中心とした障害者の利用は想定されておらず、段差、スロープの勾配、館内の照度、壁面の出っ張りや床の敷居の突出など、多くの不便・不自由がありました。ところが、今回の建物では、エレベーターの設置をはじめ、音声手摺に代表される最新の技術と考え方が反映され、平面計画が貫かれた、広々とした館内の雰囲気大きな安心感を与える建物としてお目見えしました。しかし、廊下幅がこれまでの 1.5 倍になったことから逆に広すぎて迷うとか、中央部分を歩いていて不安になるとかという声も聞かれます。平面はバリアがなくてよいのですが、ただっ広いところでの環境把握の難しさという視覚障害者特有の不便・不自由に配慮した改善が期待されます。

二つには、弱視者対策です。以前の建物にはほとんどそれらしき配慮はありませんでした。利用者の声は、「重度障害者には使いづらい、弱視者には見えにくい」などと不評で、ボランティアをはじめ、晴眼者の方からは「入りにくい、暗い」という声がありました。今回の建物では照明設備の工夫、間接照明の効果的な配備、階段部分のコントラストの配慮など、最近のロービジョン（低視力の総称）に対する考え方の広がり大きな改善がされました。しかし、弱視者のそれぞれの視力や眼疾による見え方の違いなどから反応は種々様々です。たとえば、当事者は、階段部分についてははっきりした色のコントラストを希望されるのに対し、建築設計業者やデザインを考える人達の多くは色の違いは考慮しても、極端なコン

トラストより緩やかなまとまりのある色合いを選ばれる傾向があることです。誰にも見えやすく、安心・安全な色彩環境が快適な暮らしと移動環境を保障することの意義を感じたものです。色彩計画の基準作りが急がれます。

三つには、マルチ情報発信に着目したことです。例えば、館内に張り巡らされた手摺の要所要所には必ず点字・拡大文字・音声でそれぞれ案内表示をしました。これは視覚障害者の重度 1、2 級を中心に使用している点字での表示、点字も墨字も読み書きできない中途視覚障害者を中心とした利用者のための音声、そして全視覚障害者の半数近くを占めるといわれる弱視利用者に対して拡大文字を併記し、それぞれが使用可能な情報媒体を選択できる方式を採用しました。また、磁気誘導装置や光る点字ブロックの採用など、最新設備の導入にも着手しました。効果が期待されます。

四つには、ユニバーサルデザインと平行してやはり人的支援の有効性を最優先した点です。特に 1 階ロビー部分は入り口から利用者が頻繁にこられる部分でもあり、慣れない方の来館に際しても、安心して受付まで辿り着ける誘導ブロックの敷設を前提としました。それは、不慣れな利用者でも最低限度受付までこられれば、人的支援で館内の案内や用件は達せられるという考え方に基づくものでした。それには、ユニバーサルデザインも大切だが、やはり人による声かけが優先するという施設の基本的なポリシーが含まれていたのです。そのため、階段室や北側のトイレなどへの誘導の配慮がなく、西側玄関を利用する鳥居寮の訓練生にとっては、ロビーを横切って階段室に移動することが思った以上に困難なことが明らかになりました。現在京都大学工学部大学院高田研究室の協力で館内のユニバーサルデザインの検証を実施しているところですが、廊下幅員の広がりに対するなんらかの手がかり表示の必要性について行動観察などをも含めた検討が進められています。

次号では、新築後利用者から頂戴しました「声」に反映されている改善・要望事項に対するユニバーサルデザイン検討委員会の検討経過等についてお知らせします。

あけましておめでとうございます

自立と介護の家づくり

有限会社 **ケアライフシステム**

この度弊社業務拡大・整理の為本社を移転いたしました

新本社

〒600-8813

京都市下京区中堂寺南町105-701

TEL. 075-323-0330 FAX. 075-200-1034

新南営業所 (旧本社)

〒601-8475

京都市南区八条内田町34

TEL. 075-693-0333 FAX. 075-691-6937

http://www.CLS0333.com MAIL:cls0333@zeus.eonet.ne.jp





アテネにチャレンジ! なおい 直井 ゆか 由香

皆さん、こんにちは

私は今回のアテネパラリンピックで、視覚障害の団体競技であるゴールボールに出場し、銅メダルを獲得することができました。この大会の出場権利を獲るため、2年前にはブラジルでの世界選手権に、昨年はカナダでのIBSA世界選手権に出場し、参加枠最後の椅子を勝ち取りました。そこから1年、代表選考合宿を経てチームを組んだ選手・スタッフ皆でメダル獲得を目指し、合宿・練習会を重ねてきました。ミーティング等色々話し合いながら、時にはぶつかり時には励まし合いながら、日本のゴールボールを皆で創りあげてきました。その日本のゴールボールが世界をあっと言わせたのです！なぜなら日本は世界のチームに比べるとまだまだ経験も浅く、2年前のブラジル大会では1勝することもできず、予選リーグで敗退していました。そのチームが昨年のカナダ大会で3位となったものの、まだまだ挑戦者の身分の私達が、今回のパラリンピックでヨーロッパの強豪を打ち破り、銅メダルに輝いたのです。アテネでは“サプライズジャパン”とも言われていました。私達は、一試合一試合が「勝ちたい！」「勝つぞ！」「よし！勝った！」の繰り返しで、決勝トーナメントに進み、準決勝ではアメリカに負けてしまいましたが、3位決定戦では予選リーグに引き続き、強豪フィンランドに勝利し銅メダルを勝ち取ったのです。

ここまでくるのには、私にとってはほんとうに長い道のりでした。8年前に初めてゴールボールにふれ、レクレーションから競技として捉え始めたのが6年前。

きっかけは「今ならタイに行けるよ」という甘い言葉でした。これはFESPIC（フェスピック）という4年に1度行われるアジアの大会で、頑張ればこれに行けると言うのです。今から考えれば日本代表選手に楽しめなれるわけがないし、甘い気持ちで合宿に参加するなど何をばかなと思いますが、それまでの私の人生では、スポーツに関してそこまで深く考えたことはなかったのです。

泣きたくなくなるほどの合宿での練習などありえなかったのです。結局その時は、まだまだ女子チームは国際大会に行ける実力はなく、タイには行けませんでした。ゴールボールに魅力を感じた私達は、次の大会を目指し練習を重ねていったのです。

今回パラリンピックで勝ち進んだことにより、テレビや新聞等で報道され、たくさんの人達にゴールボールを知っていただくとともに、全く知らなかった人達に興味を持っていただい、ほんとうに良かったです。これをき

かけに、一人でも多くの方がゴールボールに選手として、あるいはスタッフとして関わっていただけたらと思います。

私達はまた次の目標に向かってチャレンジして行くわけですが、少しずつでも仲間を増やして、さらにパワーアップした日本チームとなっていきたいと思います。皆さんもちょっとしたきっかけから大きな夢にチャレンジするチャンスがあるかもしれません。そのきっかけを見逃さず、まずはチャレンジしてみてください！

執筆者紹介



左から 由香さん（姉）、
光田さん、由紀さん（妹）※写真を無許可で使用しないでください

埼玉県熊谷市出身。父親の転勤により大宮市・群馬県富岡市で暮らす。現在は群馬県前橋市在住。高校2年生のころから視力が低下し始め、卒業後、盲学校専攻科に進学。病院勤務のあと、県立盲学校にて実習助手として勤務。8年前より双子の妹とともにゴールボールを始める。

視覚障害者と共に

身体障害者通所授産施設「F S トモニー」

こうだ まゆみ
光田 真由美

今回、私は日本ゴールボール女子チームに、アシスタントコーチとして参加させていただきました。

ゴールボールは視覚障害者の球技で、アイシェード（目隠しと目の保護を兼ねたゴーグル）を着用した1チーム3人のプレイヤー同士が、コート内で鈴入りボール（1.25kg）を転がすように投球し合います。そして、味方のゴールを防御しながら、相手ゴールにボールを入れることにより得点し、10分ハーフで勝敗を決するものです。

私がこの競技に携わって7年が過ぎましたが、このように日本代表チームの一員として国際大会に参加するのは初めてです。出場が決まった時には、世界の舞台に立てる喜びの反面、ゴールボールチーム、パラリンピック初出場の重みにとても不安でした。でも、「私にしかできない事が有るはず！自信をもとう」と思い、参加しました。長期に渡る大会で、選手に安心して競技に参加してもらうためには、コートの上ばかりでなく、大会期間中の生活を共にしていく中での信頼関係が大切な事であると学びました。チーム全員が勝利を信じ、「本当に勝ちたい」という気持ちを一つにし、お互いを信じる事が必要です。そのためにも、日頃の選手の様子を見て、どのような声掛けや接し方をしていけばよいか考え、選手が良い緊張状態で試合に挑めるような雰囲気を作ることを心がけていかななくてはいけないと思いました。また、障害者と健常者が認め合って一つの目標を目指せば、こんなに素晴らしいドラマが描けることも教えていただきました。

このような貴重な体験をさせていただき、世界最高の舞台上で銅メダルを獲得できたのは、いろんな形で応援してくださった方々のおかげだと感謝しております。

本当にありがとうございました。

ライトハウス探訪 **こんなことをしています！** 第25回

船岡朗読クラブについて

さえずり会 より

船岡朗読クラブという呼称は、クラブの様子を知る者には何だか堅苦しい感じがします。いろんなジャンルの読み物を聞いて、それをもとにおしゃべりの花を咲かせる会、とでも付け加えるといいのでしょうか。

第3金曜日の午後1時半からの集いに、クラブリーダーとなっているさえずり会からは3名程参加し、各自が思い思い選んだ物を持ち寄って読ませていただいています。ルームボランティアの方達3名程もさえずりと同じ様に読む物を準備されて、クラブの世話係りとして気を配りながら読み手の仲間ともなって下さっています。

この6人の読み手がいれば、6通りの好みが出て来ます。用意する新聞の切り抜き、本、雑誌、パンフレットなどなどに選ぶ時の着想の差・個性の違いがあって、多様な話題を提供できているのではないのでしょうか。この話題1つを読みあるいは聞くをきっかけにして自由なおしゃべりが始まり、司会の方の進行で次々と進んでいきます。

おしゃべりというものは、1つの事柄から次々といろんな方向へ繰り広げていくもので、その内容によって、賑やかに大笑いあり、しみりとして時に涙あり、また知らなかった事を知りへえ！の時あり、心も頭も顔も七変化どころか千変万化させての一時です。初めて参加された方でも自然に会話の輪の中に入っていっちゃいます。

読んだ記事を「その記事を他の場で紹介させてもらってとても好評で役にたった」とか、たまたま読んだ記事が「それ最近話題になってたんだけど解らなかった所があったのでちょうど良かった」とか、何十年も昔の体験に私もそれ観に行きましたと共通の話題になって話が盛り上がり上がり、そんなことがよくあります。そしてそんな様々な話の中で、ボランティアの私達は、ああ見えないって言う事はこんな風な点もあるのかと、視覚に障害を持つということに対して改めて気付かされることがあります。

このクラブは、何かを習って技術が向上したとか出来るようになったとか、そういったクラブではありませんが、おしゃべりすることにより心を活性化させ、また笑う事がホルモンの分泌をうながして、若々しくいられるという利点があります。その上教養も身に付きます(?)



生活の知恵も得られます。なごやかなクラブでの2時間を御一緒にお過ごしになりませんか。どうぞみなさんのご参加をお待ちしています。

船岡老人クラブ 朗読クラブの活動について

運営委員 むらかみ 村上 なおこ 直子

朗読クラブは平成9年4月発足しました。

さえずり会の方3人とルームボランティアの方にポエム、エッセイ、小説、雑誌、新聞等いろいろな物を読んでもいただいております。

朗読の後、皆がそれぞれに感想や意見を話し合い、とても良い雰囲気です。いつも笑い声が絶えません。

時には愚痴や苦労話をして、ストレスの解消もしています。

私は子供の頃から視力が弱くて、あまり本が読めませんでした。失明してから点字を習いましたが、点字もすらすら読めなくて録音テープ図書やさえずり文庫等を借りて聞いています。録音図書はいつでも聞きたい時に聞く事が出来ていいと思います。

朗読にも良い所があります。月に一度顔を合わせて朗読を聞くのも良い事だと思います。

朗読の後同じ話題をみんなで話しあえるのは、とても



村上直子さん(右端)

良い事です。皆さんも朗読クラブに参加してみませんか。毎月第3金曜日 13時30分から15時30分地下第3研修室でおこなっております。

点訳サービス・点字図書出版

有限
会社

オフィス

リエゾン

視覚障害者手帳をお持ちの人は点字図書が原本価格で購入できます。

出版総目録(墨字・点字)を無料でお送りします。

外国語・楽譜・立体コピー作図なども点訳しています。お気軽にお問い合わせください。

TEL: 0774-56-3907

E-mail: liaison@kk.ij4u.or.jp

ホームページ: <http://liaison.ne.jp>

〒610-0121 城陽市寺田町ノ久保2-63



F S トモニー

「みんぱく」へ行く

11 月 2 日火曜日、大阪は吹田にある「みんぱく」（国立民族学博物館）へみんなで行ってきました。

「みんぱく」には、世界中の人々が実際に使っている道具や衣裳などがたくさん展示されています。アジアやアフリカ、オセアニア、ヨーロッパ、アメリカなどのコーナーに分かれていますが、展示品の数が多いにも多いため、じっくり見て回ろうと思うと 2、3 日はかかってしまいそうです。

ここの最大の特徴は、常設展示のものであれば、ほとんどの展示品に触れることができるということです。まさに視覚障害者向けの博物館といえるでしょう。参加者のみなさんは、得体の知れないものに触れては、「なにー、これー」などと声をあげていました。

特別展示で「アラビアンナイト大博覧会」というのがあったのですが、こちらの展示品は外国から借りてきたものが多く、ほとんど手を触れることができませんでした。それを知ってか、この大博覧会の方へ行った人は少なかったように思います。

それでも昼食は、「アラビアンナイト大博覧会」にちなんだアラビア料理と幕の内弁当のどちらかを選択できるようにしました。「ここまで来て幕の内なんか食べたくないよ」ということで、アラビア料理を選んだ人が多かったのは当然のことです。「思ったより食べやすかった」という人がほとんどでしたが、選んで後悔していた人もいたようです。

いずれにしても、「みんぱく」はとても興味深いところです。まだ行ったことがないという方、一度行ってみたいかがでしょうか。



鳥 居 寮

鳥居寮・秋の芋掘り

10 月 15 日（金）、鳥居寮訓練生 24 名（入所 13 名・通所 9 名・訪問 2 名）ガイドヘルパー 2 名 実習生 2 名 職員 9 名 合計 37 名で京都府城陽市にある「あらしいも掘り農園」へ行ってきました。

当日は天候に恵まれ上着を着ていると汗をかくぐらいの陽気でした。

9 時 45 分にライトハウスを出発しマイクロバスに揺られること 1 時間 30 分、現地に着くと小さな子供の楽しそうな声が聞こえてきました。保育園の遠足でしょうか？

訓練生のみなさんも畝の間に立ち職員の合図で一斉に芋を掘り始めると、「先生見て！」「この芋こんなおっきい！」「袋いっぱいや！」等々、保育園児に負けないぐらいの楽しそうなはしゃぎ声を上げ芋掘りに夢中になっておられました。

昼食後、木津川の河川敷のサイクリング道路に移動し、タンDEM自転車（二人乗り用自転車）でのミニサイクリングを楽しみました。始めはみなさん不安そうな顔つきで遠慮気味でしたが、実際にタンDEM自転車に乗って帰ってくる時には最高の笑顔に変わっていました。「乗ってみると風が気持ちよく、懐かしい感じがする」と久々の自転車・初めての自転車に満足の様子でした。

帰りの車中では掘った芋の食べ方や、保存方法、好きな芋料理などで話が盛り上がり、ライトハウスに帰るまで会話が途切れませんでした。



情報製作センター

日盲社協点字出版部会職員研修会

京都で開催される

一部会の課題が浮かび上がるー

11 月 25 日（木）～ 26 日（金）にかけて標記研修会が京都で開催されました。全国の 20 施設から 40 名あまりの参加で、1 日目が「点字編集の重要性と多様性」、2 日目が「次期ないぶネット構想について」と「点字図

書給付事業の改善について」という三つのテーマで研修会が行なわれました。

1 日目は、京都ライトハウス情報ステーションの加藤所長の講演と 3 施設から教科書・単行本・広報の事例報告を受け、編集の重要性と編集基準の統一の必要性を認識し、昭和 60 年にまとめられた「点字出版物編集基準」の見直しと同時に、点字図書館との編集基準の統一が課題として提起されました。

2 日目は、新たに取り組まれている「次期ないふネット構想」の説明を全視情協事務局長の村井氏から聞き、出版部会としても自前のホームページを含めた積極的な情報発信の必要性が討議されました。また、「点字図書給付事業の改善」では、利用者アンケートから浮かび上がってきた問題点や課題に対し、出版部会として改善に向けた早急な取組の必要性が話し合われました。

15 時過ぎに盛りだくさんの研修会を終え、ほっこりとした気分シーズン真っ盛りの京都の秋を楽しんでいたこうと、今宮神社のあぶり餅のお店にご案内し、新しいライトハウスもゆっくり見学していただいて、2 日間の研修を無事終えることができました。

らくらく

半年を振り返って

お陰様で「らくらく」も半年を無事に過ごすことができました。これも皆様のご支援・ご協力の賜と感謝しています。

さて、利用者の皆様に今後も喜ばれる中身をと、良かった行事・企画、これからの希望などを聞かせてもらう日を数回持ちました。手作りおやつのコナーや、ピアノ等各種コンサート、ポーカールなどのトランプや麻雀ゲームが好評を得ました。買い物やハイキングといった外出への希望も多く、手頃なところで近所の神社・仏閣への声が上がりました。秋の好日が続きましたので、早速にボランティアの方のご協力も得て金閣寺や今宮神社に出かけ紅葉などの自然を満喫しました。これからも皆様の声を生かしながらの運営を心がけて参ります。同時に外出等での支援をいただけるボランティアのご参加をお待ちしていますのでよろしくお願いいたします。



船岡寮

常照寺紅葉茶会

11 月 6 日に常照寺紅葉茶会によせていただきました。

常照寺は北区鷹ヶ峰にあり、1 年に 2 回、新緑の季節と紅葉の季節にお茶会を開かれています。船岡寮にもその都度ご招待のお声を掛けていただいております。利用者の皆さんにはすっかり定着し、いつもとても楽しみにされています。

この日はとても良いお天気で、利用者 18 名、ボランティア 5 名、職員 4 名で車 4 台に分かれて乗り、行って来ました。

毎回バイオリンなど楽器の演奏をしていただいています。今回は大正琴の演奏による懐かしい唄を聴きながら、鮮やかな紅葉のもとでお菓子とお抹茶をいただき、楽しいひとときをすごしました。また、その後は、大正琴の演奏に合わせて、赤とんぼの唄なども歌いました。

そして、奥田正観御住職からは、あたたかいお言葉をかけていただいたりしました。

この日は、船岡寮の利用者だけでなく、他にも原谷こぶしの里さんや紫野さん、ヴィラ上賀茂さんなどたくさんの老人ホームの皆さんも来られておりました。

事故もなく、楽しく行ってこれましたのも、常照寺の檀家の皆様をはじめ、ボランティアの皆様のおかげです。

どうもありがとうございました。



あいあい教室

「給食」が始まりました！

身体障害者デイサービス「らくらく」と身体障害者授産施設「FS トモニ」の開所に伴って、この 4 月からあいあい教室にも給食が始まりました。今まで子どもたちのお昼ご飯は、お家から持ってきたお弁当とお母さんたちの手作りのお味噌汁でした。「朝にお弁当を作るのは大変」・「お弁当だとどうしても食べる物が偏ってしまう」という声が保護者から聞こえたことや、職員の立場からは、子どもたちの食事指導をもっと充実させたい思いで給食を導入しています。

毎日、給食の時間をみんな楽しみにしています。「今日

はカレーやで」と子どもたちがメニューを教えてくれることもあります。苦手なメニューもあひあひの給食では食べることができ、がんばる姿勢も見られるようになって来ました。施設栄養士とも連携をして、子どもたちの食べている様子を見てもらい、形態を子ども一人ひとりに合わせて作ってもらうことや、噛む練習ができるようにと工夫してもらっています。

スタートしたばかりの給食ですが、子どもたちが食べることの楽しさを味わうことができるような取り組みをしていけたらと思っています。



お知らせ

■眼科相談診療所オープン

京都市から診療所開設の許可が下りました。12 月から身障手帳と補装具の交付の診断（更生相談）を受けていただけるようになりました。

診療時間は第 1～第 4 週の水曜日 14 時から 16 時です。ライトハウス事務所で予約をお願いします。



■白杖安全デー

視覚障害者の交通安全を考える府・市民のつどいとして、「第 38 回白杖安全デー」が 10 月 24 日（日）にありました。メイン会場はゼスト御池河原町広場、アピール会場はＪＲ京都駅前・ＪＲ二条駅前・四条河原町の 3 箇所で行いました。

今回のテーマは「点字ブロックがあぶないよ!!」～視覚障害者の安全な歩行～、アピール会場でチラシを配り、駅を利用する人や街頭の方々に訴えました。京都駅では立命館大学のサークル「出前ちんどん」のメンバーが参加してくださり、駅前でにぎにぎしくアピールしました。チラシ 800 枚はアッという間になくなり、普段意識しないで歩いている点字ブロックの存在やその意味を知っていただけたかと思います。

メイン会場では、参加された方に視覚障害者の交通安全を訴える為のクイズ、小学生の作文コンクールの表彰等を行いました。今回の作文コンクールでは、楽只小学校 2 年生の古川らんさんが最優秀賞を受賞され、メイン会場で朗読をしていただきました。会場内は古川さんの朗読に聞き入り、心を打たれ方も多かったようです。誰もにやさしい街作りを、将来を担う子どもたちとこれから一緒に考えていくことができたと願っています。



■情報ステーションのサービス

郵送の貸し出しや読み書きサービスの充実

情報ステーションでは、皆様のご要望にお応えするため、サービスの充実に力を入れています。点字の本や録音テープ、そしてデジの CD、ぜひ一度お電話をください。

情報ステーションは月曜日から金曜日は 19 時まで開いており、土曜日もすべて 17 時まで開館しています。

読み書きサービスでは、月曜日から土曜日までの、10 時から 16 時の間二人のボランティアが常駐しています。どんなことでも結構ですので、お気軽にご利用ください。

PTR 1 の簡単説明会を月 2 回開催

情報ステーションでは、いちいちテープ交換しなくてよい CD のデジの普及に力を入れています。多

くの方は再生のみご利用になりますので、「再生専用講習会」をほぼ毎月2回開催しています。

3月3日は光島さんの講演です

毎年開催しています情報部門の「つどい」は3月3日で、ご存じ、芸術の世界で今をときめく光島貴之さんのお話を存分にうかがいます。ボランティアの皆様をはじめ、視覚障害者のみなさま、この機会に光島さんのお話を聞きたいみなさま、どうぞお越しください。申込み制とさせていただきますので、情報ステーション(075-462-4579)へお電話ください。

■新しい京都ライトハウスで 初の国際会議開く

10月27日から29日までの3日間、京都ライトハウスで点字ブロックの国際会議が開かれました。ISO(日本のJIS規格の国際版)の作業委員会です。

日本は点字ブロックの発明国であり、京都府立盲学校に試作品が、千本北大路交差点には本格的に、いずれも岡山について世界で2番目に敷設されています。

しかし、これまでは日本の影響は弱かったのですが、徳島大学の末田 統教授が作業委員会の議長として就任することが各国に了承されました。情報の加藤俊和が委員をしていますので、その出発点となる会議が京都でとなりました。世界をリードする取り組みが期待されています。

今回の会議は、この分野では日本で初めて開催される会議であるため、日本が受け持つ数少ないISOの議長国として経済産業省も力を入れています。ここでは、大まかな点字ブロックの形状、色、敷設方法などの世界の基準が決められていくことになります。

■第21回京都ライトハウス 点訳ボランティア認定試験

京都ライトハウスの視覚障害者情報提供部門(情報ステーション・情報製作センター)の点訳ボランティア(晴眼者)の方の確保を目的に、次の要領で実施いたします(事前申込制)。

なお受験資格については特にありませんが、京都府・京都市の点訳奉仕員認定試験合格者以上の点訳技術・技

能を有する方々を想定しています。

《会場試験》

【日時】4月8日(金)13時～(時間厳守)

【場所】京都ライトハウス地下研修室1・2

【持ち物】点字器(点字タイプライター使用の場合は事前に申し出ること。パソコンなどの電子機器と携帯電話の持ち込みは不可)・参考資料・筆記用具

【試験内容】「校正問題試験」(点字で解答のこと)

【定員】先着40人

【申込方法】はがきが封書に「点訳ボランティア認定試験受験希望」と明記し、氏名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号・性別・生年月日・修了された講習会名と修了年度を記入して「京都ライトハウス 情報ステーション 矢部」までお送りください。

【申込締切】3月22日(火)必着

《在宅試験》

会場試験の成績が一定レベル以上の方に受けていただきます。在宅試験のみの申し込みはできません。

【試験内容】「点訳問題・漢字読み取り点訳問題」の2科目(5月中旬ごろに実施)

■「2005年度京都ライトハウス 点訳ボランティア中級講座」開催のご案内

京都ライトハウスの視覚障害者情報提供部門(情報ステーション・情報製作センター)の点訳ボランティア・点字指導者(晴眼者)の育成を目的に、標記講座を次の要領で開催いたします。受講希望者は、事前にお申し込みいただいた上で、下記の説明会・受講者選抜試験に必ずご参加ください。

《講座の概要》

【開講日時】2005年6月～2006年2月の第1・3・5の金曜日(12月30日を除く20回)
13時30分～15時30分

【開講場所】京都ライトハウス

【内容】『点訳のてびき 第3版』の詳細説明、読み方練習、点訳・校正練習、資料調査実習ほか

【定員】15人程度(受講者選抜試験の成績により選

永年の信用・まごころのご奉仕

葬祭センター

公益社

本社/京都市中京区烏丸通三条下ル ☎075(221)4000
フリーダイヤル ☎0120-00-4200

◆葬儀式場◆

公益社 北 葬儀ホール(堀川東) 京都市北区紫明通堀川東入 ☎(075) 414-0420
公益社 中央葬儀ホール(五 条) 京都市東山区五条通大和路 ☎(075) 551-5555
公益社 南 葬儀ホール(堀川八条) 京都市南区堀川通八条下ル西側 ☎(075) 662-0042
公益社 宇治葬儀ホール(宇治 横島) 宇治市横島町(文教大学前) ☎(0774) 20-0142
公益社 滋賀葬儀ホール(大 津) 大津市朝日が丘1丁目 ☎(077) 523-0042

消防設備・設計・施工・監理

その他消防用品販売



近畿報知機株式会社

京都市右京区嵯峨野嵯峨ノ段町1の17

電話 (075) 881-2738 番(代)

FAX (075) 881-8188 番

考）を予定

【申込方法】 所定の申込書（1 月 9 日から配布）に必要事項を記入して、2 月 26 日までに京都ライトハウス「点訳ボランティア中級講座」係へ（先着 60 人まで受付）

【問い合わせ】 京都ライトハウス 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町 11
TEL075-462-4446 FAX075-462-4449
（情報製作センター・点字製作室 担当：渡辺）

《講座の説明会および受講者選抜試験》

【日 時】 3 月 11 日（金）13 時 30 分～（時間厳守）

【場 所】 京都ライトハウス地下研修室 1・2

【持ち物】 点字器（点字タイプライター使用の場合は事前に申し出ること。パソコンなどの電子機器と携帯電話の持ち込みは不可）・参考資料・筆記用具

【内 容】 講座の説明および受講者選抜試験「点訳問題・校正問題（墨字で解答）・漢字読み取り点訳問題」の 3 科目

■第 22 回視覚障害者

京都マラソン大会開催のお知らせ

今年も西京極総合運動公園陸上競技場をメイン会場に、例年通り 3 月第 1 日曜日に開催することとなりました。

今回は、アテネパラリンピック視覚障害マラソンで見事金メダルを獲得されました高橋勇市選手を招待し、参加者の方々と一緒に走っていただく予定です。また、地域の小学生を対象に伴走体験会や手引き体験会を実施致します。

今回から、第 21 回大会で多額のご寄付を頂戴した上、多くの社員様にお手伝いいただき、まさに物心両面で支えていただきました『株式会社わかさ生活』様が主催者に加わり実行委員会との共催となりました。新たな体制となり、今まで以上に多くの視覚に障害を持つランナーの方々にご参加いただくと共に、より多くの方々にこの大会を知っていただきたいと思います。ご家族やご友人も併せて気軽にご参加下さい。

【主 催】 視覚障害者京都マラソン大会実行委員会
株式会社わかさ生活

【開催日】 2005 年 3 月 6 日（日）雨天決行

【会 場】 西京極総合運動公園陸上競技場及び周辺道路

【競技種目】 距離別（10 km・3 km・1 km）、男女別、全盲・弱視別

【問い合わせ】 〒603-8302

京都市北区紫野花ノ坊町 11

社会福祉法人京都ライトハウス内

マラソン大会実行委員会事務局

〈TEL〉 075-462-4400

〈FAX〉 075-462-4402

〈URL〉 <http://www.kyoto-lighthouse.or.jp/>

※昨年末（12 月 31 日）で申し込みを締め切らせてい

ただきました。過去 10 年間の参加者にはダイレクトメールをお送りしていますが、もし届いていない方はご連絡下さい。

お れ い

■梶寿美子様

10 月 23 日、京都府立府民ホール・アルティにおいて「梶寿美子 箏弾き語り一箏の音を未来に一」を開催され、多額のご寄付を頂戴しました。運営資金として活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

■稲谷奈緒美様

10 月 24 日、京都府立文化芸術会館において「イラク被災児お見舞いチャリティー・稲谷奈緒美 2004」を開催され、多数の視覚障害者をご招待いただきました。

大変ありがとうございました。

■光の音符様

10 月 28 日と 29 日に、京都コンサートホールで開催された「文化庁舞台芸術国際フェスティバル アジアのスーパー・ガラ・コンサート」に多数の視覚障害者をご招待いただきました。

また、10 月 30 日、京都ライトハウスホールにおいて「京の狂言会～若き狂言師 和泉元彌氏を迎えて～」を開催され、多額のご寄付を頂戴しました。運営資金として活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

■京都盲人ハムクラブ様・ハムスターズ様

11 月 3 日、京都ライトハウスホールにおいて「お気楽ライブ 2004」を開催され、多額のご寄付を頂戴しました。運営資金として活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

■京田辺点字サークル「すみれ」様

11 月 6 日、「チャリティーバザー」を開催され、多額のご寄付を頂戴しました。運営資金として活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

■久我の杜ボランティアサークル

「虹のメロディ」様

11 月 13 日、久我の杜小学校体育館において「チャリティーバザー」を開催され、多額のご寄付を頂戴しました。運営資金として活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

■船橋美穂様

12 月 3 日、京都府立府民ホール・アルティにおいて「船橋美穂 ピアノアンサンブルシリーズ Vol. 8～心に響く祖国への想い～」を開催され、多数の視覚障害者をご招待いただきました。

大変ありがとうございました。

■佛教大学混声合唱団様

12 月 4 日、京都コンサートホールにおいて「佛教大学混声合唱団第 35 回記念定期演奏会」を開催され、多数の視覚障害者をご招待いただきました。

大変ありがとうございました。

■国際ソロプチミスト京都一みやこ様

12 月 18 日、京都こども文化会館において「第 23 回エンゼルフェスティバル」を開催され、多数の視覚障害者をご招待いただきました。

大変ありがとうございました。

■聖母学院中学高等学校ハンドベル部様

12 月 23 日、京都市呉竹文化センターにおいて「第 11 回チャリティコンサート 聖母学院ハンドベルクワイア」を開催され、多数の視覚障害者をご招待いただきました。

大変ありがとうございました。

ご寄付ご寄贈ありがとうございます！

次の通り、数々のご芳志をいただきました。厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

(50 音順・敬称略)

2004 年 10 月 1 日～2004 年 11 月 30 日

寄付金 134 件 3,066,523 円

物品寄付・ご奉仕 131 件

【寄付金】

茜屋、池側佳澄、ECC 地球救済キャンペーン事務、石津満寿美、イシダ、五十川静江、稲葉医院、植田喜久子、榎川美千代、大江修身、お気楽ライブ 2004、奥井ヒサエ、梶寿美子、梶宏、華頂短期大学、加藤博史、河本真輝琴、岸陽子、木村道子、京セラ、京田辺点字サークル「すみれ」、京都 YMC A 国際福祉専門学校、京都銀行本店、同稲荷支店、同太秦安井支店、同大宮支店、同帷子ノ辻支店、同桂支店、同上桂支店、同上堀川支店、同吉祥院支店、同京都駅前支店、同銀閣寺支店、同九条支店、同鞍馬口支店、同嵯峨支店、同三条支店、同四条支店、同紫竹支店、同下鴨支店、同下鳥羽支店、同修学院支店、同墨染支店、同高野支店、同出町支店、同寺町二条支店、同七条支店、同西桂支店、同西四条支店、同西陣支店、同白梅町支店、

同東九条支店、同東山支店、同百万遍支店、同藤森支店、同伏見支店、同府庁出張所、同府庁前支店、同松尾支店、同向島支店、同紫野支店、同山科中央支店、同洛西支店、同鹿王院支店、京都市神川児童館フリーマーケット、公文茂人、高良富子、ゴールボール協会、久我の杜ボランティアサークル「虹のメロディー」、国際ソロプチミスト京都一みやこ、ザ・パレスサイドホテル、笹岡汀山、種智院大学、新旭町赤十字奉仕団、末延勝則、朱雀第三社会福祉協議会、正親小学校、高鳥善夫、タキイ種苗、辰巳全一、田中武、千原眼科医院千原悦夫、塚本やすこクリニック、堤明子、点訳ボランティア「あゆみ」、戸波有香子、富村税理士事務所、中橋彌光、南海福祉専門学校、西村眼科西村久子、日本ライトハウス、任天堂、ノートルダム女子大学、野田弥生、花園大学、浜川妙子、光の音符、フジの園、佛教大学福祉教育開発センター、古橋マスエ、ボランティアグループタラント、正木美穂、松村ヨシ子、美野靖三、守屋新、山口内科医院、山本ひとみ、弓削経夫、吉田幸子、米林正恭、立命館大学、ローム、わかさ生活、匿名 (21 件)

【物品寄付・ご奉仕】

青木玲子、青山弘、足立久子、池田善成、伊佐迪子、石田ひとみ、磯部治、一谷孝、伊藤純男、伊藤辰弥、伊藤治子、糸川嘉則、井上高行、岩井小ミノ、内田務、NALC ことの会、大川勝三、大阪府視覚障害者福祉協会、大谷忠子、大谷八重子、大橋東洋彦、奥村久子、奥山晴生、小田長、小野桂、小野登志子、小野昌子、梶原清一、勝山ウタ、加藤紀江、川坂真也、河瀬須恵、川見明美、北垣せつ子、北川珠江、北村貞人、木下幸子、京都 YMC A 学園、京都産業大学新社会ボランティアサークル、高齢・障害者雇用支援機構、国際ソロプチミスト京都一みやこ、小路口桃里、佐川せつ子、佐久間正雄、佐々江温子、佐々江満治、佐々木トキ子、佐々木陽子、佐野弘子、塩見章子、篠田陽子、柴田慶子、島津幸光、清水千恵子、常照寺、白坂澄夫、新茶山荘、杉浦洋子、杉山彰、鈴木さほ、鈴木とみ子、住友生命保険、聖母学院ハンドベル部、聖母学院中学高等学校、関口泰子、高野嘉子、田中みゆき、棚橋きよ子、谷川正雄、谷口恵似、辻謙一、辻美也子、漢字学習支援グループ、点友会、同志社 D・M・C、遠山昭雄、中江利彦、中江美智子、中島田鶴、中島美津子、中田英子、中村美佐子、西野美代子、西村ゆり、日本漢字協会、日本新聞インキ、畑勇子、馬場元志、馬場康子、深尾泰司、福見久代、藤田慧子、佛教大学混声合唱団、船橋美穂、古河美奈、古田悠美子、北条滝枝、ポードフォン、前田不二子、松永信也、松本すみ子、美内輝子、三浦豊子、三菱製紙販売大阪支店、三村敏子、村上直子、望月幸子、本永友彦、森初子、山下祐嘉里、山田留里子、大和亜矢子、山中良三、山本英子、山本琴松、山本恵江子、山本早苗、湯浅昭次、横田弘子、吉田唱子、吉田善次、吉村栄一、吉村公治、読売テレビ放送、ライオン、朗読グループあいあい、和田恭子、渡辺祐子、渡部隆三、匿名 (1 名)

京都ライトハウス後援会より

次の通り、後援会費と運営資金寄付金を納入いただきました。会員の皆様のお名前を掲げ、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。（50 音順・敬称略）

2004 年 10 月 1 日～2004 年 11 月 30 日

後援会費 82 件 164,000 円

運営資金寄付金 38 件 269,600 円

愛きもの、青木玲子、旭新一、芦田賀寿、芦田富子、安達信之、荒川照子、井川栄一、井口クニコ、井口光子、石井幸子、石田貞江、井上久子、井上寛、今宿晋作、入江渥子、入江礼子、岩坪吟子、植田源子、太田勝己、大西信子、大西正広、大橋東洋彦、陰山智美、片山和子、門哲雄、金居延子、金沢蓮子、蒲田良子、鎌田啓子、川那部綾、川辺悠、木坂順一郎、岸本節子、北川隆子、北村裕喜子、鬼頭誠、樺田レイ子、栗原和子、河野勝彦、こうの眼科クリニック河野明美、高良富子、小寺五十江、小濱フサ、小森修子、斉藤絹代、榊美智子、佐々木澄代、佐野シゲ子、澤田禮子、島本朝子、下重貞一、下山恵美

編集後記

「ライトハウス通信」の 100 号を発行することが出来ました。1 年に 4 回、1 号を出してから 25 年がたちました。

当初は B 5 版縦書き、そして A 4 版へ、現在は A 4 版横書きに、世の流れに併せて変化してきました。広報の方法もホームページを加えて発信を実施してきました。今回からホームページでも「ライトハウス通信」を見られるようにする予定です。

恒例になりました「あい・らぶ・ふえあ」は例年より少し早い 1 月 13 日から大丸で行います。どんな様子だったのか、次号で報告をしたいと思います。（M）

☆☆☆京都ライトハウス後援会からのお願い☆☆☆ ー 京都ライトハウスの運営に皆様の一層のご支援を ー

京都ライトハウスは、京都府・京都市をはじめ、多くの皆様方の絶大なご支援のおかげを持ちまして竣工後早 1 年を迎えようとしています。2004 年 4 月からは新規事業を加えて七事業部門がさらなる利用者サービスの拡充を目指して事業展開を行っております。この間寄せられました多くの方々からのご支援に対し、この誌面をお借りして深く感謝申し上げます。

さて、建物が新築され、広さが拡充されたことにより、施設設備や最新の機器の導入などで以前に比べて大きな改善が図られました。しかし、その反面、エレベーターの新設や空調設備の拡充などから必然的に光熱水費が増大し、その維持管理費はこれまでの数倍にも達するものと見込まれています。

そこで、役職員一堂、最大の節減対策を講じながら健全な財政運営に努力しているところですが、行政からの補助金の消滅や支援費制度の移行による財政的な伸び悩みなどから、事業運営においても極めて厳しい状況だと言わざるを得ない状況です。

つきましては、このような施設事情をご理解いただき、今後の視覚障害児・者福祉のさらなる拡充と発展に向け、後援会へのご加入と併せて、引き続きのご支援を重ねてお願い申し上げます。大変ご無理をお願いすることになりますが、こうした趣意をご理解戴き、一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。 2005 年 1 月

京都ライトハウス後援会

会 長 塚原 勇
副会長 中橋 彌光
理 事 木下 茂
同 上 高橋 寛
同 上 谷川 正雄
同 上 富井 宏

理 事 中谷 佑一
同 上 中野 進
同 上 中野 信夫
同 上 中西 定典
同 上 本田 孔士

年会費：金 2,000 円

取扱窓口：〒606-8302 京都市北区紫野花ノ坊町 11

社会福祉法人 京都ライトハウス （075-462-4400）

郵便振込：振替口座番号 01090-3-9080

口座名 京都ライトハウス後援会

（同封の振り込み用紙をご利用下さい。氏名には必ずふりがなをご記入願います。）

☆年会費 2,000 円を超える額を振り込んで戴いた場合は、その超えた額を 今後の運営経営確保のために後援会に積立てさせていただきます。事情ご推察の上、格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

 三井住友海上火災保険株式会社 三井住友海上きらめき生命業務受託 京都総合保険事務所 最小の掛け金で、あなたに合った最大の保証をお探しいたします。 火災保険・自動車保険・生命保険・介護費用保険・賠償責任保険・他 所 長 藤 井 務 京都市左京区一乗寺東杉の宮町42 第6京土ビル3F TEL (075) 705・1157 FAX (075) 705・2080	新車・中古車販売 一般整備・点検・車検 钣金・塗装 クサカ自動車 有限会社 京都市北区紫野西舟岡町3 〇七五―四四一―一五三五七	たしかな味と手頃なお値段で 精進料理 お多長 〒616 8047 京都市右京区花園宮ノ上町三十二 TEL 〇七五―四六二―五三二五 FAX 〇七五―四六三―三一四五	謹賀新年 	
株式会社 ソナール 代表取締役 佐々木久廣 京都市右京区西京極畔勝町30番地 TEL 〇七五―三二二―四八六六 FAX 〇七五―三二五―四七一〇	セブンイレブン 京都千本北大路店 京都市北区紫野下御輿町23 〇七五―四九一―四七三三	スウィング 総合医療機器 SWING 〒520-0226 大津市陽明町5-13 TEL.077-573-9854 FAX.077-573-6961	洋紙・高級板紙・特殊紙・不織布 包装資材全般 宏陽 株式会社 京都市南区吉祥院石原堂ノ後町1 TEL 〇七五―六六一―一七〇一 FAX 〇七五―六六一―一七〇一	旬の味を大切に作る 手づくりのお惣菜の店 中ツツ「つる幸」 着色料・保存料などの合成添加物は使用しておりません。 安心してお買上げ下さい。 京都市上京区千本寺ノ内下ル (乾隆小学校バス停前) TEL 〇七五―四六六―三五五九
居宅介護（ケアマネ）と 訪問介護（ヘルパー派遣）と 生活支援（便利屋）と、やっています。（水口） 京都高齢者協同組合・くらしコープ 京都市北区紫野東野町一―五 TEL・FAX (〇七五) 四三二―三六三六	お引越・ご旅行のご用命は―― 引越・貸切バス 海外・国内旅行 日進トラベル 0774 82961 0774 3311 (31) 82961	設計・施工から維持管理まで、 建物を知りつくしたシミズが建物を見守り、 ライフサイクルコストを低減します。 いつまでも価値ある建物のために 安心と安全をお届けします 清水建設グループ 株式会社 シミズ・ビルライフケア関西 京都営業所 〒600-8023 京都市下京区河原町通松原上る2丁目富永町338番地 TEL 075-353-4977(代) FAX 075-341-7368 本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀2丁目2番3号 TEL 06-6443-0508(代) FAX 06-6443-9074	夜のロマンチックタイム 田村ふとん店 京都市上京区千本通上長者町下ル二〇 045-11265 FAX 四五-11266 http://www.kyoto-senbon.or.jp/~tam E-mail:tam@kyoto-senbon.or.jp	
地域一番店に挑戦 総合家庭電化製品 各種電気工業 ―新大宮― 株式会社 鎌田電機 京都市北区新大宮通り北大路上ル西側 TEL 〇七五 四九一―四九八一代 FAX 〇七五 四九一―〇六三六	ヘルスケアフーズの明日を考える 日清医療食品株式会社 京都市中京区烏丸御池下ル虎屋町五六一― 井門明治安田生命ビル七階 TEL 〇七五 二二二―一六六五 FAX 〇七五 二二二―一八〇五 http://www.nifs.co.jp	Asahi SOFT DRINKS アサヒ飲料株式会社 京都桂支店 京都市西京区下津林前泓町二三 TEL 〇七五 三九四―五八三一 FAX 〇七五 三九四―五八三〇 http://www.asahinryo.co.jp	SHIMZ 清水建設株式会社 京都営業所 京都市中京区河原町通二条下ル一之船入町 三八四番地(京都ホテルアネックスビル五階) TEL 〇七五 二二二―一五二〇(代) FAX 〇七五 二二二―一八六〇 E-mail:mijoe@shimz.co.jp	NAITO ARCHITECTS 株式会社 内藤建築事務所 代表取締役 小島重喜 社 長 京都市左京区田中大塚町一八二 電話(〇七五)七八一―四二二